

令和7年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

管理機関名(長崎県)

1. 取組についての評価

・NEXT長崎人材育成事業において産業界、高校、知事部局が「学びの連携」を実現しており、特に知事部局から教育委員会に出向した方がコーディネーターを務めていることや、知事部局の方が学校ヒアリングに同行するなかで学校における学びについて知見を得て認識を共有していったことは注目に値する。知事部局の産業関連各部との連携を積極的に進めることで各産業系高校と産業界の円滑な関係構築を図っていることは高く評価できる。更にこれまでなかなか難しいとみられていた県教委と市町村教委との連携についても、長崎市教育委員会への積極的なアプローチが行われており、今後の展開が期待される。

・先進事例への対応についても、高校や行政の担当者だけではなく高校の先生全員と共有する工夫がされており、事業を属人的にせず、組織で継続、横展開できる体制づくりに努めている。

・産学官それぞれの役割分担が明確に整理されており、各主体が自らの強みを生かした取組が展開されていた点が特徴的である。県教育委員会は経費面での支援や全体の調整・コーディネート機能を担い、知事部局は産業団体や企業とのマッチングを行うなど、連携の要となる役割を果たしていた。こうした役割分担により、関係機関が無理なく協力し合える体制が構築されていた。また、県内すべての専門高校において実施体制を位置付けた上でコンソーシアムを確立し、意見交換や研修会の機会を設けたことにより、学校間の相互理解が深まるとともに、他県の先進的な取組を学び、自校の実践に生かす機会につながっていた。特に佐世保商業高校では、観光ビジネスに特化した事業に取り組み、ハウステンボスをはじめとする観光分野の実務者から直接指導を受けたり、業界の現状や課題について話を聞いたりする機会が設けられていた。これにより、生徒は知識や技術の習得にとどまらず、地域が抱える課題を踏まえながら、どのような職業人を目指すことが望ましいのかを考える機会を得ており、職業観の形成につながる学びが実現していた。

・教育委員会と知事部局が緊密な連携をとり、一緒に学校訪問や対話を行い、予算反映も見据えながら取り組まれており、担当が変わってもつながりつづけ、学校がやりたいことに柔軟に対応できる体制をとっていることが素晴らしい。産業団体や知事部局と連携することで、学校の負担を減らして取り組むことができる。また、県立、市立関係なく、県全体として取り組まれていることも素晴らしい。

2. 今後の課題と考えられること

・これまでに培ったマイスター・ハイスクール普及促進事業における経験、ノウハウを今後のネクストハイスクール構想に活かしていくためには、産学連携の更なる充実が求められる。具体的には、こうした事業によって生徒にどのような力がついたのか、あるいはどのような力が伸びなかったのかを定量的に把握し、その対応策を産学連携のプラットフォームで協議、実践し、更にコーディネーターを活用した伴走支援による横展開を進めていく必要がある。その過程で普通科を含めた学科間、あるいは学校間の連携を更に強化していくことも重要になってくると思料される。

・本事業の取組を通して、職業人としての資質・能力を身に付けるために、生徒が何を、どのように学ぶことが大切かについて、県内の専門高校が改めて考える機会となった。各校の実践を共有する中で、学習内容や学び方の具体的な改善の方向性が見えてきた点は、本事業の意義の一つであるといえる。また、将来の地域の課題に目を向けたときに、どのような力を身に付けることが、地域産業界で活躍できる職業人につながるのかを、生徒自身が意識しながら学ぶことの重要性も示された。その観点からすると、各専門高校において、学科や分野を越えて共通する学びを取り入れることも、有効な取組の一つとして考えられる。例えば、外部データを活用して県内産業の現状や課題を分析し、解決策を探る探究的な学習や、新たな産業の創出につながるようなイノベティブな発想を促す教材を活用した学習などは、今後の展開として期待される取組である。こうした学びを通して、生徒が地域や産業との関わりを実感しながら、将来の姿を描いていくことができるようになってくると考えられる。

・全体への波及についての課題感、適応課題と技術課題があり、適応課題のマインドに注目されていたが、コンテンツベースから、本当に学校を変えるために適応課題に取り組むにあたり、教育委員会がファシリテーターとして、先生方が見たことのないことに触れる機会を作ったり、一部の先生だけではなく全体に広げるためのアウトリーチ型のシンポジウムを行い、模擬授業を実施したりしながら広げる工夫をされるなど、学校で生まれたイノベーターをアウトリーチする仕組みを育てていくという、今後の長崎型のファシリテーターモデルに大変期待している。

・ハード面とソフト面の両輪でのさらなる加速に期待。